



やらまいか

例会日：毎週火曜日 12：30 例会場：豊川商工会議所
 会長：水野太一 幹事：岩瀬靖宏 SAA：永田恵照 会報委員長：小田伊佐浩
 事務局：豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 0533-86-2535 Fax0533-86-8889
 ホームページ <http://toyokawahoi.tank.jp> Email hoirc@sala.or.jp

本年度第4回 通算1121回 平成21年7月28日(火) くもり

ゲスト ボラン・コラボ穂の国7の6高校の皆さん
 国府高校生徒6名・教諭1名 小坂井高校生徒3名・教諭1名
 豊川工業高校生徒4名・教諭1名 豊川高校生徒3名・教諭1名
 宝陵高校生徒2名・教諭1名 御津高校生徒5名・教諭1名

ビジター 新城RC 小笠原喜好さん

出席報告 林博宣委員長

会員総数	計算会員数	本日の出席者数	本日の出席率	7/14 修正出席率
53名	44+7名	36名	70.6%	89.6%

司会進行 永田恵照 SAA

会長の挨拶及び報告 水野太一会長



こんにちは。毎日蒸し暑い日が続いております。いつになったら梅雨明けになる

のでしょうか。今週は、群馬県で竜巻が発生し多くの被害を受けられました。先週は山口県や鳥取県で発達した梅雨前線による記録的豪雨の影響で土石流が相次いで発生するなど、多くの人たちが犠牲になりました。ご冥福をお祈りします。幸い、三河地方には豪雨もなく、一安心しているところです。いつこういう事が起きるかわかりませんので、気をつけて頂きたいと思えます。

先週の22日に、夏目エレクトとロータリー財団セミナーに出席して参りました。300名の出席と報告がありました。大沢ガバナーの挨拶のあと、国際ロータリー第2750地区パストガバナー、東京世田谷RCの川尻政輝さん

の卓話「ロータリーの新たな可能性」の話を聞きました。次年度のためにバランスのとれた事業計画をして下さいという内容でした。また特別講演に、国際ロータリー日本事務局、財務室長の片岡暎子さんの「地区補助金と新地区補助金」についての説明がありました。

私も大好きなゴルフで、宮里藍ちゃんが全米ツアー4年目で、日本人6人目の初優勝をしました。大変感激しました。先週の例会後に第1回ゴルフ同好会コンペを行い、滝下会員が優勝されました。大岩パスト会長も会長職を終えられて、のびのびとゴルフをされ、ベスグロを取られて楽しそうでした。

今日は、新世代委員会担当の高校生のボランティア活動の報告で、市内の6高校の高校生と担当の先生方が出席下さっています。この後、活動報告を聞かせて頂きます。よろしくお願ひします。

幹事報告

岩瀬靖宏幹事

ウィークリー：新城RC
 例会臨時変更のお知らせ
 豊橋北・豊橋東・渥美・豊橋
 豊橋ゴルフンRC
 次回例会について

新世代委員会担当例会

高校生ボランティア活動報告

委員長あいさつ



議長を豊川に設立してくれないかと依頼され、3年前に設立の準備に入り2年前に設立をしました。今年が3年目で、活動発表が今回で5回目になります。今年も、6高校が揃いました。付添いの先生方ありがとうございます。それでは、各学校の活動発表をします。

豊川高校の発表



豊川高校のボランティア活動について報告します。特徴は、部活動が中心になって特に地域と結びついた活動をしていることです。そして、それが学園祭や五者フォーラムなどの自主活動に結びついていることです。生徒会、和太鼓部、チア部、ダンス部、吹奏楽部、インターアクト部が豊川高校の主な地域ボランティア活動を支えています。和太鼓部では、太鼓の演奏を通じて地域と繋がっています。3月に加茂校区老人クラブ、5月にケアステーション川花、7月にデイサービスセンター豊川彩幸、8月に青山病院、麻生田町夏祭り、9月三谷原町敬老会、10月に砥鹿神社の少林寺拳法の演舞会で演奏しました。これらの会を通して、地域の人々に喜んでもらえる事を参加したみんなが感じています。各行事を通じて、地域の皆さんに育ててもらっていることを実感しています。また、ダンス部は、3月に豊橋加茂校区の老人クラブのステージに出演し、このステージを通じて、ダンスの

星川委員長

こんにちは。私が3年前に新世代委員長をやった時に、豊橋ゴールドンRCより、高校生ボランティアの連絡協

面白さを子ども達に伝えることができました。ダンス部は、総勢50名の部員があり、豊川高校の行事には欠かせない存在になっています。吹奏楽部も活発に活動しています。5月に東三河リトルリーグ野球協会創立30周年の式典、豊川市金屋小学校の集会、豊川宝飯安全な街づくり推進会、11月にいなり楽市、1月に豊川ライオンズクラブ創立45周年チャリティコンサートでの演奏を行ないました。これらの地域活動を通して、部員の皆さんは人々に演奏を聞いてもらえることの幸せを知り、温かい言葉を掛けてもらえることで、とても嬉しく活動に励みが見ついたとのこと。チアリーディング部は、コニカミノルタで慰問のステージを展開。活動を通じて、チアリーディングの素晴らしさを知ってもらい、部員の皆さんは喜びを感じています。今後も様々なところに行きたいと希望しています。インターアクト部は、ボランティア活動をする部活です。地元の光輝寮や平尾荘への慰問をしています。これらの活動から、年代の幅は広いですが、人々の喜ぶ姿を見ることが、いつの間にか自分たちの楽しみとなっているそうです。生徒会は、5月のおいでん祭での難民の為に衣料品回収活動、秋に豊年じゃ祭のお手伝いに参加しています。また、奨学資金財団「1億円募金」に取り組んでいます。経済的理由から学校に通えない仲間を救う募金で、いつも地域の方々の温かい心に救われています。このように、豊川高校のボランティア活動は、部活動と生徒会を中心に地域の活動に繋がっており、その中で仲間が活躍したり、時に支えられたりして、頑張っています。これからもご支援よろしくお願ひします。

小坂井高校の発表



平成21年度のボランティア活動について報告します。本校では、生徒会を中心に活動を行なっています。生徒には校内放送やポスターなどで呼びかけを行なっています。本年度の活動は、5月に豊橋動植物公園の善意フェスティバルに17名の生徒が参加しました。

福祉施設の人たちと一緒に模擬店、ゲームコーナー、野外ステージを案内見学しました。夏休みには、豊橋善意銀行主催による活動、小坂井町主催の青少年とボランティア福祉体験に参加する予定です。2学期の文化祭には、小坂井町のもくせい授産所の人たちを招待します。12月の期末テストの最終日に、生徒会活動の一環として、校内・通学路・学校周辺の清掃活動を行ないます。これをクリーン作戦と呼び、毎年、教職員と部活動を中心に全校生徒の多くが参加してくれます。3学期は、1・2年生の希望の生徒で、小坂井町の桃里保育園を訪問して園児と一緒に遊んだり、おやつを食べたりと2時間ほど幼児教育の見学体験をしています。他にもボランティア活動の依頼があれば、参加募集を行い、参加していきたいと思っています

御津高校の発表



21年度の活動を報告します。日頃、ボランティア部では、ペーパーフラワー作り

や手話講習会を行なっています。今年も様々な行事に参加し、ボランティア部と生徒会執行部は、行事の準備や広報活動に意欲的に取り組んでいます。一般生徒のボランティア活動への理解も得られ、活動生徒は増加しています。現在ボランティア部では、8月1日の豊橋聾学校で行事と8月5日の豊川彩幸の高齢者交流会の準備をしています。

主な活動を紹介します。5月30日に豊橋聾学校体育大会に参加をして交流しました。5月31日に豊橋善意銀行主催のボランティアフェスティバルに参加しました。参加した人の感想は、「初めて参加して色々な事を学びました。一緒に廻った方は、耳が不自由な方で、自分の出来る手話で伝わるようにしました。この善意フェスティバルで学んだ事を生かしていきたいと思いました。」です。昨年11月に豊橋聾学校の文化祭で、ペーパーフラワー作り教室を行ないました。準備した材料がすべてなくなるほど好評でした。今年の文

化祭は、御津高校のテスト中なので、8月に行われるPTA親子活動の日に行ないます。御津広石公民館で高齢者交流会に参加しています。65歳以上のお年寄りを対象に月に一度、朝はモーニング、昼は誕生日会、歌と体操、昼食会などを一緒にしています。8月は、豊川市社会福祉協議会主催の青少年ボランティア体験学習で、大木会館で行なわれる乳幼児・保護者との交流会、音羽福祉保険センターで行なわれる高齢者交流会に参加する予定です。11月のくすのき福祉まつりのお手伝い、2月の国府の市ウォークラリーのお手伝いを行なう予定です。これからも、いろんなボランティアに参加して、人との交流を大切にしていきたいです。

宝陵高校の発表



私たちは、本年度14名の部員で活動をしています。全員2年生で女子が11名、男子が

3名です。1学期の活動としては、募金活動と七夕祭りの準備を行ないました。4月23日に、13名の部員が参加して、あしなが育英会の募金活動に参加しました。豊橋駅東口で、通行の人たちに募金の呼びかけ、多くの人たちに募金をして頂きました。この募金活動は、先輩から後輩へと受け継がれ、毎年行なっているので、これからも続けていきたいと思っています。七夕祭りの準備も毎年行なっています。学校の近くにある障害者の方の為の施設である希全センターへ行き、入所者の方々と一緒に七夕の短冊を書き、笹竹に短冊や綺麗な飾りを沢山つけます。入所者の方々と交流を深めることができ、とても意義のあることだと思いました。

夏休み中の今は、学童保育支援を行なっています。新城市大野のひだまりの家と一宮東部小学校のぼかぼかクラブの二箇所に行きます。部員が2~3名ずつ交代で参加し、小さな子ども達と遊んだり、ゲームをしたりします。ひだまりの家は、昨年まで、新城東郷東小学校で行なわれていましたが、今年から大野に場所が変わりました。新しい場所で、新たな

気持ちで活動したいと思っています。学童保育支援は、夏休み中の14日間に渡って行なわれます。元気一杯の子ども達と遊ぶので、部員にも体力が必要です。しかし、とても楽しい活動です。主催者や保護者の方々にも喜んでもらえるので、とてもやりがいがあります。

2学期以降は、10月の文化祭での発表、12月の体験発表会の活動報告があります。今年も昨年と同様に身近な活動を中心しつつ、環境問題とか食糧問題、医療問題など、世界的な問題にも関心を持って活動をしていきたいと思っています。発表の場を通して、このような問題を伝え、多くの人たちに関心を持ってもらえたら、ボランティア部の活動として、とても大きな意味を持つと思います。新しい活動を始めることは、なかなか難しいですが、今まで行なってきた事を継続する事を大切にして、今後の活動に取り組んでいきたいと思っています。

豊川工業高校の発表



ボランティア部の活動報告をします。去年まで同好会扱いになっていましたが、3

年間の活動が認められ、部への昇格が認められました。豊川工業ボランティア部の新たなスタートとして、今年の8月下旬にキャンドルナイトを企画しています。去年の夏に24時間テレビの募金活動とともに、キャンドルナイトを豊川総合体育館前で、ペットボトル型のキャンドルを2000個製作し、テーマの「誓い2008」という文字を作りました。それが大成功をおさめたので、今年からキャンドルナイトを豊川工業ボランティア部のメインイベントとしてやっていこうと思っています。そして、今年からキャンドルナイトに使用するものは、ペットボトルだけでなく、貝を使ったシーボーンアートを取り入れようと考えています。

シーボーンアートは、シーが海で、ボーンが生まれる、アートが芸術、つまり海から生まれた芸術です。今、海は、海外のゴミが流

れ着いたり、日本人が海に遊びに行ってゴミを持ち帰らず、ゴミが海に溢れています。しかし、シーボーンアートは、その汚れてしまった海から芸術を生み出す素晴らしいものです。シーボーンアートは、貝やガラスを拾って使うので自然にやさしいという訳です。8月31日に、豊川総合体育館前で、キャンドルナイトを行います。

また、毎月第3土曜日に、赤塚山のものづくり教室に参加し、児童と一緒に工作をしています。

国府高校の場合



毎年たくさんのボランティアに参加しています。すでに活動したものは、5月21日にゆ

うあいの里で活動に参加しました。活動内容は、周辺の草刈です。当初、参加人数が心配されましたが、サッカー部などの協力により40名程が参加し活動をする事ができました。

夏休みには、青少年ボランティア体験学習があります。これは、豊川市社会福祉協議会が中心となって実施しているもので、生徒会が窓口となって生徒へ紹介しています。ただ単にボランティア活動をするだけでなく、保育園や介護施設といった将来自分がなりたい職業を体験することができます。実践が大切な糧となる保育士、介護士といった職業を希望する生徒が毎年応募しています。10月の中間考査の最終日と12月の期末考査の最終日には学校周辺美化活動を行なっています。毎年100人を超える参加者で大規模な清掃活動となり、学校周辺の草取りやゴミ拾いを行なっています。地元の駅や学校間の通学路、歩道、地下道など毎日通る道感謝を混めて取り組んでいます。11月には、赤い羽根の募金活動を行っています。毎年、多くの方が募金に協力してくれるので、大きな額を寄付することができます。しかし、中には、非協力的な生徒もいます。その人は全く協力する気がないわけではないと思いますが、世界が今どきのようになっているか、自分たちより不

自由な人がどのくらいいるかを知ってもらえば、今まで以上に協力できるのではないかと思います。

また、地元商店街を中心に結成されている「信楽会」主催の「音羽川音楽祭～GO WEST～」に、吹奏楽部が演奏活動を行っています。この活動は、音楽の発表を通して地域住民と学校、地域団体との交流を図り、お互いが関わりあうことで地域の活力を生みだそうということを目指しています。本校以外にも多くの学校が参加していて、本格的な音楽祭となっています。冬になるとこの「信楽会」が主催する「国府の市」に参加しています。イベントのスタンプラリーの運営や片付けをしています。当日は、地元の小学生や保育園児たちがたくさん参加し大忙しです。

9月の文化祭には、小坂井町のもくせい授産所の方々をお招きし、生徒会メンバーがその製作品の陳列や販売を行っています。他にも様々な活動を行っています。小さなことで何かを救うことができるのは、ボランティアだと思っているので、これからもたくさんのボランティアに参加していきたいです。

ニコニコボックス

その他

小笠原喜好さん　　メーカーキャップさせて頂き
鈴木健雄会員　　誕生日を祝って頂き
樺山修一会員　　"
度会尚志会員　　"
内藤泰通会員　　事業所創業を祝って頂き
大島嗣雄会員　　入会記念日を祝って頂き



~~~~~交流会レポート~~~~~

例会終了後に、「ボラン・コラボ穂の国 7」の交流会が行われました。

テーマ

「みんなで何かやるとしたら、どんなことができる？(できること、やりたいこと、問題点)」

出来ること

- ゴミ拾い、草取り、
- みんなで出来る事をやろう
- 活動支援金を使って模擬店
売上金は寄付する
- 清掃活動を行う
- 着なくなった服を集めて海外におくる
- ペットボトルのキャップ集め
ワクチン接種の費用になる

問題点

- みんなで集まる機会が少ない
- 情報の共有が必要
- どこで活動を行うのかが問題
- 清掃活動を行う場所の選定
- 活動をするときの資金問題

~~~~~交流会レポート~~~~~



会報担当者：小田伊佐浩会員、鈴木啓仁会員

このウィークリーは再生紙を使用しています。